

## 令和8年度入試結果速報(豊山版)

**私大は少数科目・共テ利用の志願増で出願分散が加速 国立は前期2.9倍・後期10.2倍で前年並み 日大は志願者が前年比108.9%と増加**

今年度(令和8年度入試)は新課程2年目。共通テストは「文系・理系とも平均点が下がった」とされ、得点力が読みづらい中で出願は慎重化しやすい状況でした。一方で国公立大の確定志願倍率は前期2.9倍・後期10.2倍で、全体としては大きくは動かず「微調整」の日だったと言えます。私立大は逆に、共通テスト利用方式の志願増が目立ち、上位私大でも東京理科大学(共テ利用)や上智大学などで志願者数の伸びが報じられています。その流れは中堅大学にも波及し、日本大学は(学部第一部+第二部合計で)100,486人、前年度比108.9%と増加が確認できます。

こうした「国立は倍率横ばい、私立は方式多様化で出願が広がる」環境の中、本校でも一般選抜に加え、総合型・学校推薦型など年内入試で早期に進路を決める動きが引き続き強まることが見込まれます。今後は、共通テストの結果次第で出願が揺れやすい分、複数方式を組み合わせた受験設計がより重要になります。

以下に2月25日時点での進路状況の概要と、合格者数をまとめました。

### 2026年2月25日現在の日大進学者・他大合格者状況

日本大学		推薦等	一般	他大		推薦等	一般
法学部	一部	49		九州工業大学	1		
	二部	2		早稲田大学		3	
文理学部		31		慶應義塾大学	1	5	
経済学部		46		上智大学	6	2	
商学部		24		東京理科大学	12	2	
芸術学部		9	1	明治大学	2	9	
国際関係学部		0		青山学院大学		3	
危機管理学部		7		立教大学	1	2	
スポーツ科学部		2		中央大学	3	4	
理工学部		102	2	法政大学	3	13	
生産工学部		22		学習院大学	1	0	
工学部		0		専修大学	1	2	
医学部		2		工学院大学	1	0	
歯学部		0		芝浦工業大学	4	0	
松戸歯学部		3		東京工科大学	4	0	
生物資源科学部		13		東京電機大学	1	0	
薬学部		3		東京都市大学	5	1	
短期大学部	三島	0		東京農業大学	7	0	
短期大学部	船橋	0		その他の大学	31	37	
小計		315	3	小計		84	83
進学者数		318		合格者数		167	

### 【日本大学】

現在318名(高3の68.1%)の生徒が進学を決めています。文系学部では昨年に続いて法学部と経済学部に進学を決めた生徒が多く、次に文理学部と商学部が続きます。理系学部では、例年通り理工学部が最も多く、104名が進学を決めました。今年の特徴としては、付属推薦では15枠しかない医学部に、2名も決まったことでしょう。



### 【他大】

他大学の合格者は、GMARCH以上の大学で73名となっており、昨年と同時期と比較すると、2倍以上もの合格者が出ました(昨年は33名)。その中でも今年度は、早稲田大学と慶應義塾大学だけでも9名の合格者が出ていて、近年の中でも最も実績を上げています。GMARCHクラスについては、もう少し一般選抜の合否結果が出ます。そして国公立大学の合否結果は3月上旬以降に発表されますので、4月(次号)のCompassに掲載する予定です。



## 高1社会人セミナー

3月10日(火)高1対象に、社会人の方々による16歳から現在に至るまでのキャリアに関する講演を聴き、自らの将来を見据え想像することでキャリア意識を高め、自分の将来について考えることを目的として「社会人セミナー」を実施しています。社会の第一線で活躍している13名の講師の方々に、ご自身の経験や社会で活躍するために必要な力、高校生活でやっておくべきことなど、生徒の今後に活きる話をさせていただきます。高校や大学時代での経験をもとに、「今何をすべきか」や「働くこととはどういうことか」等をお話していただきます。当日のスケジュールは、以下の通りです。

当日のスケジュール	
8:20	通常登校
8:35~ 8:50	社会人セミナーについての事前HR
9:10~10:00	1時間目
10:15~11:05	2時間目
11:10~	HR 振り返りアンケートへの回答 ※iPad必須



当日は各教室に分かれ、1人2講座を受講します。受講講座については13のテーマの中から希望調査を行い、現在割り振りを行っています。当日、担任から個票が配布されるので、そちらにしたがって教室移動をするようにしてください。なお、個票にはメモ欄を用意しておりますので、しっかりと聴いて、大事だと思ったことは書き留めておくようにしましょう。教室に戻ったら、個票に感想や意見をまとめロイノートで提出します。その後、アンケートに回答してもらいます。

講演のテーマは、次の通りです。なお、緑色は文系・青色は理系に就かれた方を意味しています。

	テーマ
1	興味の根っこを探ると「空間デザイナー」という仕事でした
2	弁護士という仕事、その広がり
3	アスリートを支える〜スポットライトの裏側にある仕事〜
4	公認会計士として海外で働いて
5	「体育会系から就職〜サラリーマン〜保険代理店として独立開業〜各種金融商品取扱業者に至るまで」
6	「ピンッ!」とくる職業に出会うために
7	伝える力、伝わる力
8	G-SHOCK開発ストーリーから学ぶ〜頑張り続ける心の作り方〜
9	ある「放線菌」との出会い〜微生物と共に生きる〜
10	想いをかたちに
11	エンジニアってどんな仕事? 「技術で社会貢献する」ものづくりは楽しい
12	答えは無尽大?!絶対解のない魅惑のマーケティング世界〜研究職からマーケティング部、そして人事部へ〜
13	やりたいことがなくても、迷いながら見た景色が力になる〜総合電機メーカーのこれまでとAI時代のこれから〜

今回の経験が、生徒の皆さんがキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成に繋がってくれたらと願っています。そして、キャリアの形成にとって重要なのは、自らの力で生き方を選択していくことができるよう必要な能力や態度を身に付けることです。現代社会は変化のスピードが速く、将来の予測が難しい時代です。そんな中で、皆さんが自立して生きていくために、キャリア教育が大きな力を貸してくれるはずですよ。

◎自分を知る: 自分の得意なこと、好きなこと、どんな時に活躍できるのか、じっくり考えるきっかけになります。

◎社会を知る: 世の中にはどんな仕事があり、どんな役割があるのか、広い視野で見てください。

◎未来を創る: 今の勉強が将来どう役立つのかを知ることで、学ぶ面白さが増し、夢や目標に向かって積極的に行動できます。

この「社会人セミナー」を自身のキャリアを考える良いきっかけにしてほしいと思います。

## 一般合格者の声

一般選抜も2月の佳境をむかえ、受験生から合格の報告が徐々に増えてきています。今年も一般受験を終えた高3に3つの質問に答えてもらいました。自分なりに参考になるものがあればぜひ取り入れてみてください。

### ① どうやって合格したのか。何がうまくいったのか。

- ★3教科満遍なく点数が取れたから合格できた。過去問と違い、歴史総合が大問12問出題されたが、それに対応できたことが大きかった。
- ★大体の計画を立てることが大事。私は高3の夏休みまでに数学と英語を完璧にし、それ以降に理科を学習することを目標にしていた。
- ★うまくいった秘訣は、自分に合う参考書・環境・方法をちゃんと見つけられたこと。塾選びなり、参考書なり、自分に合うものを見つければ絶対に合格できる。
- ★勉強方法の裏ワザがあればいいが、結局は気合と睡眠。毎日懸命に勉強しよう。
- ★がむしゃらに勉強するのではなく、大きっぱいでいいから計画を立てる。そして時間より質を重視する。時間よりやり切ったことに目を向ける。
- ★勉強は基本問題をとれるように、基礎を重点的に勉強した。実技はレッスンの先生に指導してもらい、演奏する曲の解釈を追究した。面接は担任の先生と練習し、ChatGPTで改善した。(芸術学部)

\*\*\*\*\*

## 総合的な探究の時間と進路

大学入学選抜では、各種選抜方式によって求められる学力が異なります。選抜方式は、一般選抜・学校推薦型選抜(公募制・指定校制)・総合型選抜の主に3種類に分けられます。ここでは、いわゆる受験勉強をして受験をするという一般選抜とは異なり、日々の総合的な探究の時間での活動等が活用可能な選抜方式である総合型選抜において、先輩たちがどのように取り組んで合格を勝ち取ったのかを紹介したいと思います。

### ① 上智大学 外国語学部 ドイツ語学科 合格(文系進学)

探究テーマ:

ユルゲン・ハーバーマスの「熟議民主主義」が理性的な意思形成を支える仕組みを機能分化の中でいかに実現できるか

この生徒は、部活動と学びたいことを両立しながら他大学受験を考えた結果、総合型選抜で受験することを選びました。知識を吸収するために、文献調査では国立国会図書館を利用し、そこでしか閲覧できない資料まで目を通しています。さらに、図書館利用者との交流も大切にし、多くの考えを受容しました。その後、専門家にも積極的に質問を行い、議論を重ねることで知見を深めています。探究の時間でも本テーマにて発表を行っており、大勢の前での発表経験が本番でも落ちついて臨む自信につながったと言っていました。

### ② 慶應義塾大学 理工学部 電気情報工学科 合格(理系特進)

探究テーマ:

量子通信を利用した量子コンピュータの並列化

この生徒は、1年次より量子コンピュータに興味を持っていました。しかし、現在ある指定校推薦枠の大学や日本大学では自身の取り組みたい研究ができないことを知り、かつ卒業生講演会をきっかけに総合型選抜で受験することを選んでいます。量子通信に関しては、イベントで知り合った専門家や大学教授とのコミュニケーションを通していく中で、その知識を学んでいたそうです。また、慶應義塾大学では研究発表や課題だけではなく、筆記試験も課されています。

もちろん、探究をやっていれば合格する、ということではありません。上記の先輩たちのように、その大学・学部・学科が求めている「学問への熱量」があることが大前提です。そして、探究を通じて推薦書や面接などでアピールする点が増え、それらが結果につながっていききました。

最後に、総合的な探究の時間を通じて触れた分野に興味をもち、指定校推薦や付属推薦で進学先を決めた生徒も多くいます。探究でさまざまな社会課題を知り、自分の本当に興味のあることや、より深く勉強したいことを知るきっかけとなれば、必要書類の1つとなっている志望理由書の「志望動機」で学びに向かう「主体性」を示すことができるのではないのでしょうか。このように、自身の進路に対して探究もきっかけを与えてくれるはずですよ。次年度も積極的に取り組んでほしいと思います。

### ② 試験当日や本番で気がつけたこと、意識したこと

- ★朝、腹痛になることが多いので、なるべく早く起きて体調を整えるようにした。試験が始まる前に短い英文などを読んで試験に臨みやすした。
- ★集合時間から実技が始まるまで5時間ほどあるので、どうすれば本番にベストをもってこれるか考えて練習した。本番中はホールでの響きをおさえ、どう展開していくかを考えて演奏した。(芸術学部)
- ★最後まで諦めない。得点調整などいろいろな偶然で受かるかもしれないので最後まで運を高めるために諦めないで頑張ろう。
- ★受験会場に来たライバルたちを、「大学に入ったらこれから友達になる人たち」と考えて緊張を和らげた。
- ★ちょっとだけ緊張はした方がいい。どうしても緊張するときは深呼吸と肩のリラックスをする。
- ★満点を狙わないで、落としてもいい問題を見極める。
- ★前日の夕食は軽くて、試験前は水を飲みすぎない。当日はトイレが混むので、試験の1時間半前に到着するようにした。



### ③ 後輩に伝えておきたいこと!

- ★とにかく目標を高くもち、絶対に志望校を下げないよう努力する。模試で結果を出すよりも自分の本心と向き合って受験校を決めることが大切。
- ★とにかく毎日少しの時間でもいいから勉強する。発展的な内容にとられすぎなくてもいい。ほとんどの入試は基礎的な問題 +  $\alpha$  (難しい問題)を正解すれば合格できる。
- ★気負いすぎるとなってしまう!
- ★どれだけ早い段階で自分に合う勉強法を見つけられるかは大事。私はかなり不真面目で、すぐスマホをいじりたくなつたので封印できる箱を買った。
- ★ネットに載っている情報やYouTube動画など、さまざまな情報があふれていて不安になるが、一番あてになるのは自分の感覚。
- ★試験日をよく確認する。特進コースなら、推薦は使わずに一般でいい。そっちの方が楽しかった。



\*\*\*\*\*

## 3月の進路行事

3月10日(火) 社会人セミナー (高1)

3月17日(火) 卒業生講演会 (中高特進クラス)



月	日	日直
	( )	

17日に実施される卒業生講演会は、卒業したばかりの先輩から話を聴く貴重な機会です。高校生にとっては、知っている先輩がいるかもしれませんが、その先輩方がどのような努力を重ねてきたか、またどのような戦略で臨んだかを聴ける貴重な機会です。特に一般選抜で臨むことが多い特進クラスの生徒向けの内容になるので、ここで聴く話をひとつのきっかけとしてモチベーションを上げてください。中3生にとってはまだ先のように感じているかもしれませんが、目標が高ければ高いほど、準備が必要ということにもなります。過去にはこのタイミングで最難関大学への受験を決めた生徒もいます。

5時間目は多目的ホールで全体会を行い、6時間目は高3H組で個別相談会を実施しますので、ここでたくさん質問をしてくださいね。

## 最後に

## 今年度もご愛読いただきありがとうございます

今年度も無事に全ての発行を終えることができました。進路情報新聞Compassは、生徒の皆さんの進路の羅針盤となり、それぞれが希望する進学先に進めるように今後も役立つ情報をお届けしていきます。来年度もよろしく願いいたします。

次回4月号は、4月上旬に発行予定です